

発議第7号

公務員倫理の確立を求める決議

地方分権が進展する中、本市は、急速に進行する少子高齢化や低迷を続ける地方経済の活性化など多くの課題を抱えており、市職員に期待される役割と使命は非常に大きい。

このような中で、市職員としてあるまじき行為や不適切な事務執行といった不祥事が立て続けに発生し、市民の信頼を著しく損ねていることは甚だ遺憾である。

こうした一連の不祥事は、公務員としての責任と自覚の欠如、および組織の管理体制の不備に起因するものと断ぜざるを得ない。

よって、市長は市職員一人ひとりにその責務の重みを再認識させ、綱紀粛正に万全を期し、一層の公務員倫理の確立を図るとともに、組織をあげて不祥事の再発防止に全力で取り組むことによって、一刻も早い市民の信頼回復を図るよう強く求める。

以上、決議する。

平成24年10月2日

高山市議会

議員提出議案

議員提出議案として、決議および意見書を発議し、全会一致で決定しました。

決議について

このたび、職員が窃盗未遂容疑で逮捕、器物損壊事件として不起訴処分、市営住宅の不適切な事務にかかる職員の処分など一連の不祥事により懲戒処分となつた事案3件について、全員協議会において職員の倫理感、責任感の欠如の問題等が指

摘され、行政のチェック機関である議会としては、こうした事案が二度と発生することのないよう行政に強く求めていくこととし、その意思を「決議」という形で表明しました。

全員協議会での議論
公金紛失の問題について、「紛失と認定

した判断が腑に落ちない」「錯誤という理由では納得できない」「真相究明の必要がある」「議会に対しても市民に対して説明不足の感否めない」「業務の執行体制に大きな問題があつたと言わざるを得ない」「改善策が十分なものが検証していく必要がある」などの厳しい意見が述べら

れました。

また、職員の倫理感、責任感の欠如の問題も指摘され、「研修強化などの再発防止に向けた取り組みを注視する必要がある」「背景には職員間のコミュニケーション不足やストレスがあるのではないか」などの意見が述べられました。

発議第6号
地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、地球規模の課題となつており、環境保護、国土の保全、水源の涵養など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きい。

そのために森林整備、保全等の森林吸収源対策や再生可能エネ

ルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的、総合的に実施することが不可欠であるが、木材価格の暴落、低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい状況にあり、恒久的、安定的な財源が大幅に不足している。

二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備、保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、平成24年10月に導入される「地球温暖化対策のた

お答えします

市民に開かれた議会の広報誌として、議員手づくりで「ぎかいだより」の編集にあたり、近、内容やあり方について皆さまから様々なご意見やお問い合わせをいただくようになりました。

今後、機会をとらえコメントしていきたくと考えておりますので、ご意見をお寄せください。

めの税」の一定割合を、森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築することを強く求める。

